

平成 25 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	美術	担当教員	山本卓見 (非常勤)	
学年学科	1 年 全学科	前期または後期	必修	1 単位
学習・教育目標	(A-3) 100%			
授業の目標と期待される効果：	<p>各自の自由なイメージによる作品の制作を通じて、柔軟な発想力、多様な表現力を養い、日常における美意識を高め、豊かな感性を育てる。</p>			
	<p><b>成績評価の方法：</b>          課題作品 100 点×3=300 点          製作レポート 50 点×3=150 点          以上を合計し、得点率 (%) で成績をつける。</p> <p><b>達成度評価の基準：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自由なイメージを具象化できる。</li> <li>2. 柔軟な発想力を身につける。</li> <li>3. 日常における美意識を高める。</li> </ol>			
授業の進め方とアドバイス：	<p>制作を中心に行うので、材料・道具・画材など、各自必要とするものをしっかり準備する。自分自身のイメージの表現に徹すること。</p>			
教科書および参考書：	<p>高校美術 3 (日文)</p>			
授業の概要と予定：前期	<p>第 1 回：授業概要・制作課題の説明          第 2 回：自画像 (自己の発見と表現)。          鉛筆・絵の具・クレヨンなど、あらゆる画材・技法を用いて自己表現をする。          第 3 回：自画像          第 4 回：作品発表会・講評・制作コンセプトのレポート提出。          第 5 回：平面課題 (創造力と表現力の融合)          日本のイメージをを、塗る・描く・貼るなどあらゆる技法・画材を用いて表現する。          第 6 回：平面課題          第 7 回：平面課題          第 8 回：作品発表会・講評・制作コンセプトのレポート提出。          第 9 回：立体課題 (表現領域の拡大)          生活廃材を素材に、心の中の情景 (過去・現在・未来) を立体作品として表現する。          第 10 回：立体課題          第 11 回：立体課題          第 12 回：立体課題          第 13 回：立体課題          第 14 回：立体課題          第 15 回：作品発表会・講評・制作コンセプトのレポート提出。</p>			